

スクールカウンセラー配置事業

平成28年度予算要求額 78,207千円

目的：幼児児童生徒、教職員及び保護者が臨床心理に関して高度な専門的知識及び経験を有するスクールカウンセラーの相談を受けることができる体制を整備し、児童生徒のいじめ、不登校、問題行動等の早期発見・早期解決に向け、適切に対応するとともに、児童生徒等の心の健康を維持できるようにする。

★ 予算要求ポイント

- ・小学校:21人(5人増)
- ・特別支援学校:1人(1人増)

【根拠】

- ・小学校での活用希望が増加
- ・多様な障害、教育ニーズが増え、保護者対応が困難化

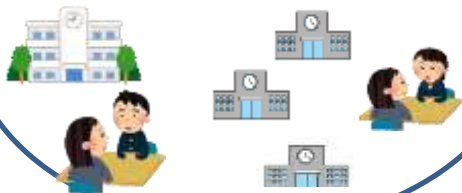
SCスーパーバイザー兼区担当:7人(4人増)

- ・緊急事態の対応
- ・カウンセラーの資質向上

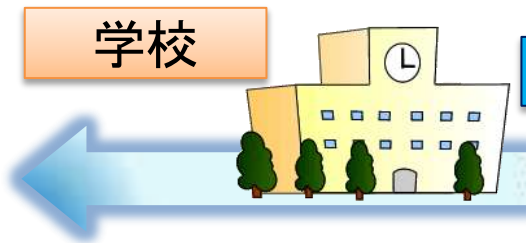
区教健

- ①担当区内学校園からの「いじめ対策委員会等」の参加要請に迅速に対応できるようにする。
- ②担当区内学校園SCへの助言等をする。

平成27年度
1中学校区3小学校完全配置
被災児童生徒数に応じ配置



学校



不登校

いじめ

児童生徒が置かれた様々な問題への働きかけ、心のケア・助言・援助等及び新たな課題への対応

問題行動

暴力行為

スクールカウンセラー (SC)

臨床心理士等の資格を有し、学校園における教育相談体制の充実を図ることを目的に配置され、学校長の指揮監督のもと職務を行う

保護者



児童生徒



教職員



平成28年度要求
・SC66校

<小21・中43・高1・特支1>

1中学校区2小学校完全配置
をめざします。

